

日本林業

発行：一般社団法人 日本林業協会

東京都港区赤坂 1-9-1 3 三会堂ビル
TEL. 03-3586-8430 FAX. 03-3586-8434

編集・発行人 前田直登

林業団体賀詞交換会 背に受けた風を 思う存分吸収し 前進を！

一協会からの情報提供を一段と充実

- 一般向け情報誌として『森林と林業』
- 会員向け情報誌として『協会報 日本林業』を発行



新春恒例の林業団体新年賀詞交換会が1月6日に三会堂ビル石垣記念ホールで開催された。今年は曜日の関係から、仕事始めが6日となった所が多く、それだけに賀詞交換会に集まった200名余の参加者も、年明けを祝うというよりは、挨拶を通じて本年の先行きを探るといった仕事モードの濃い賀詞交換会となった。アベノミックス効果なのか、消費増税の駆け込み需要によるものか、はたまた木材利用ポイントの効果か、いずれにせよ、このところの木材業界の活況に話題が集まり、先行きの分析に花が咲いていた。



主催者を代表して挨拶に立った飯塚日本林業協会会長(写真左上)は「補正、本予算の編成では期待以上のものが得られ、明るい新年のスタートとなりました。ただ一つ気に入らない事は環境税がまた見送られたことだ」としたうえで「ただ大きな変化もあった。環境税には反対の姿勢を取っている経済団体側から、林業を産業として捉えた『林業復活・森林再生国民会議』の創設が提唱されました。また、8月11日を『山の日』として国民の祝祭日にしようという動きも出ています。このような変化は森林に対する国民の意識が、国の見方が、大きく変化している証左です。背に受けた風を思う存分吸収して前進しましょう」と新年の抱負を表明しました。



来賓として挨拶に立った沼田林野庁長官(写真左中)は、年末の国産材価格の騰勢で国産材の底の浅さを批判されていることを受けて「林業に関してはそのキーとなるのは利用の拡大と安定供給体制の確保である」との従前からの考え方を改めて強調しました。一方、乾杯の挨拶に立った箕輪大日本山林会会長(写真左下)は、過去の歴史を振り返りながら「甲午の年は新しいことに向かって歩み出す年だ。林業界も今まで溜めてきた力を存分に発揮しましょう」と新年に向けた意気込みを語っています。

目次:

賀詞交換会	1
平成26年度 予算概算決定 概要	2
林野庁 人事異動	3
行事日程	3

林団懇 平成26年度林野庁関係予算の説明

一般社団法人日本林業協会は1月9日に第613回林業団体懇談会(略称:林団懇)を開催し、平成26年度林野庁予算の概算決定額に関する説明会を開催した。

林野庁関係の平成26年度予算概算決定額は総額で2,916億円で前年度比0.6%増とはなっているが、昨年末に経済対策を主眼とした平成25年度補正予算額が総額で1,294億円が措置されていることで、補正・本予算を合わせた合計額は4,210億円にのぼっており、これは前年度の予算額に比べると実に45.2%増という規模有する内容となっている。

補正・本予算を合わせた合計額の事業費別の決定額は、公共事業費では、一般公共事業費が2,252億円で

平成26年度 林野庁関係予算総括表

区 分	平成25年度 当初予算額	平成26年度 概算決定額 A	25年度補正追加額	
			補正額 B	A+B
	百万円	百万円	百万円	百万円
公共事業費 (対前年度比 %)	189,616	191,267 100.9	59,129	250,396 132.1
一般公共事業費 (対前年度比 %)	179,642	181,293 100.9	43,890	225,183 125.4
治山事業費 (対前年度比 %)	61,144	61,570 100.7	16,497	78,067 127.7
森林整備事業費 (対前年度比 %)	118,498	119,723 101.0	27,393	147,116 124.2
災害復旧等事業費 (対前年度比 %)	9,974	9,974 100.0	15,239	25,213 252.8
非公共事業費 (対前年度比 %)	100,324	100,328 100.0	70,307	170,634 170.1
総 額 (対前年度比 %)	289,940	291,595 100.6	129,436	421,030 145.2

(注) 1. 上記のほか、農林漁村地域整備交付金に、林野関係公共事業を措置している。

2. 計数は、四捨五入のため合計とは一致しない場合がある。

前年度比25.4%増、災害復旧等事業費が252億円で同比152.8%増となっており、一般公共事業費の内訳は、治山事業費が781億円で同比27.7%増、森林整備事業費が1,471億円で同比24.2%増となった。

一方、非公共事業費は総額で1,706億円となり、前年度比で70.1%増と大幅な伸びを実現する結果となった。

なお、当日の予算説明には、全体予算額の概要と税制改正を含めて林野庁林政課長の漆原克彦氏が、また、林野公共事業関係予算に関しては林野庁森林整備部長の本郷浩二氏が、国有林野事業関連の予算に関しては林野庁国有林野部長の沖修司氏がそれぞれ講師として出席し、概要の説明に当たった。

《A-FIVE (株)農林漁業成長産業化支援機構- のファンドを活用した6次産業化のすすめ》

9日の林団懇では昨年2月にスタートした(株)農林漁業成長産業化支援機構(A-FIVE)の活動内容が、同機構の役員も務める箕輪大日本山林会会長から紹介された。

A-FIVEは、日本の農林水産業、農山漁村の活性化を目指し、生産から消費までのバリューチェーンをつなぎ、地域の活力を引き出すため、このような新たな取組に対して出資や経営支援を行う官民連携の組織としてスタートしており、政府は300億円を出資している。現在A-FIVEでは、地域の金融機関やメガバンク等が出資主体となってサブファンドの設立を進めており、A-FIVE出資分の310億円を含めて現在のサブファンドの総額は620億円強となっている。

これらのファンドを活用し、機構は、農林水産業成長産業化・6次産業化への取組を支援するための資金供給スキームを作成しており、A-FIVEは6次産業化の実現に向け、①出資、②融資、③マッチング-の三役を果たす。

A-FIVEによるファンドの特徴は、農林漁業の特性を踏まえ、投資期間を最長15年に設定していることであり、中長期的な観点に立って6次産業化の取組を支援することとなっている。

林野庁人事異動

平成26年1月1日付

林野庁森林整備部治山課水源地治山対策室長	内閣府企画官（政策統括官-防災担当-付参事官-総務担当-付）	江坂文寿
林野庁森林整備部研究指導課放射性物質影響評価官	林野庁森林整備部研究指導課付	井上晋
東北森林管理局森林整備部長	林野庁森林整備部治山課水源地治山対策室長	飯塚淳
北海道森林管理局檜山森林管理署長	北海道森林管理局総務企画部業務調整課企画官（業務調整担当函館事務所長）	春山邦明
関東森林管理局磐城森林管理署長	関東森林管理局利根沼田森林管理署長	中澤文彦
関東森林管理局利根沼田森林管理署長	林野庁林政部林政課監査官	永井寛
林野庁林政部林政課監査官	独立行政法人森林総合研究所企画部育種企画課長	関充利
林野庁林政部林政課管理官（契約適正化推進担当）	北海道森林管理局檜山森林管理署長	白淵弘
林野庁林政部経営課課長補佐（構造改善班担当）	林野庁国有林野部経営企画課企画官（情報処理担当）	杉山高
林野庁森林整備部整備課課長補佐（造林事業班担当）	林野庁林政部経営課課長補佐（構造改善班担当）	黒木尚
林野庁森林整備部整備課課長補佐（業務管理班担当）	林野庁国有林野部業務課課長補佐（財産管理班担当）	久保芳文
林野庁国有林野部経営企画課企画官（情報処理担当）	九州森林管理局沖縄森林管理署地域林政調査官	宮武文典
林野庁国有林野部業務課企画官（災害対策担当）・東北森林管理局宮城北部森林管理署併任	林野庁森林整備部整備課課長補佐（業務管理班担当）	飯島康夫
林野庁国有林野部業務課課長補佐（財産管理班担当）	林野庁森林整備部整備課課長補佐（造林事業班担当）	中本貴美
北海道森林管理局総務企画部業務調整課企画官（業務調整担当函館事務所長）	北海道森林管理局総務企画部業務調整課監査官	杉村茂
北海道森林管理局総務企画部業務調整課監査官	北海道森林管理局網走中部森林管理署次長	梶岡雅人
北海道森林管理局網走中部森林管理署次長	北海道森林管理局網走南部森林管理署総括事務管理官	後藤直樹

平成26年1月13日付

農林水産省出向（大臣官房付へ） 四国森林管理局長 新木雅之

平成26年1月14日付

四国森林管理局長 経営局総務課長 浅川京子

12月の国会の動き

- 4日（水）自民党・循環型社会形成のための木材利用推進議員連盟総会
- 10日（火）自民党・資源エネルギー戦略調査会 地域の活性化に資する分散型エネルギー会議
- 18日（水）農林水産戦略調査会・農林部会林政小委員会・シイタケ等特用林産振興議員連盟
- 24日（火）農林水産戦略調査会・農林部会・農政推進協議会（26年度農林水産関係予算）

1月の業界・協会の動き

- 6日（月）新年賀詞交換会（三会堂ビル）
- 9日（木）国有林野事業推進協議会／林団懇
- 15日（水）地方農政局長・森林管理局長等会議
- 17日（金）公共建築物に於ける木材の利用の促進に関する関係省庁会議／森林と林業編集会議
- 22日（水）全国低コスト造林シンポジウム ～コナエナ苗による低コスト造林の拡大～
- 28日（火）林木育種成果発表会（木材会館）